

高山 夏希

「堆く、石走りて」

2024.4.7(sun) — 6.2(sun)



この度は rin art association では高山夏希による個展「堆く、石走りて」を開催いたします。

高山夏希の絵画制作は重層的に幾重にも注射器を用いて描かれた色彩や、彫刻刀で繊細に削り落としながら、内包された未知なる色彩を探し出すように行われます。触覚的あるいは彫刻的とも言える手法を用いて現代の中で薄れてしまっている人・動物・モノ・環境などが一体性を持った世界観が生まれます。その背景には情報メディアや電子機器の発達より、様々ものが断絶された状態にあるこの世界に対し、失われる以前の間とそれ以外の物体との有効な関係を取り戻したいとの彼女の強い思いがあります。

今展は寒水石を用いて、分解と混合を繰り返しながら変容する素材との対話を重ね、丹念に作られた岩肌のような自然を想起させる肌理を有した絵画作品と、それに呼応するような地層の断片から創造した近年取り組んでいるセラミック作品で構成されます。

接続することの意義性を問いかける高山夏希の作品をこの機会にご高覧いただけたら幸いです。

1990年 東京生まれ

2014年 東京造形大学 造形学部美術学科 絵画専攻 卒業

2016年 東京造形大学大学院 造形研究科 美術専攻領域 修了

Solo Exhibitions

2023年に「気色の目 -Eyes of KESHIKI」(奈義町現代美術館/岡山)、2022年に「black view」(IDÉE TOKYO /東京)、「空を泳ぐ鳥は火を灯す」(NADiff a/p/a/r/t /東京)、2021年に「water mirror intersect」(haku kyoto /京都)、2019年に DESIGNART TOKYO 2019「Mnēmosynē」(Brooks Brothers 青山本店/東京)、「EXPOSE」(GUM 表参道/東京)

Group Exhibitions

2024年に「RE:FACTORY_2」(WALL_alternative /東京)、「MEET YOUR ART FESTIVAL 2022 'New Soil」(恵比寿ガーデンプレイス/東京)、2021年に「WHAT CAFE x DELTA exhibition 'EXPANSION」(WHAT CAFE /東京)、房総里山芸術祭いちほらアート × ミックス 2020+「conjunction - 名詞から接続詞へ -」(白鳥保育所/千葉)、「アートスロープ」(西武渋谷店/東京)、「偶然の地層の上で」howra(浅井裕介 + 高山夏希)(EUKARYOTE /東京)、2020年に「VOCA 展 2020 現代美術の野望 - 新しい平面の作家たち -」(上野の森美術館/東京)、2019年「群馬青年ビエンナーレ 2019」(群馬県立近代美術館/群馬) など

[水-日] 11:00-19:00 [月-火] 休廊

contact

rin art association

370-0044 群馬県高崎市岩押町 5-24

t: 027-387-0195 e: contact@rinartassociation w: <https://rinartassociation.com>